

【世界自動車産業の展望 2025】

BEV バブル崩壊後の各国政府動向と 世界の OEM の新たな道筋

— 講師 — 株式会社 SOKEN エグゼクティブフェロー

一般社団法人日本自動車部品工業会 技術顧問 古野 志健男 氏

日時 2025年3月12日(水) 午後1時～3時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

昨今のメディアでの BEV バブル崩壊正否論争について実態を把握・咀嚼した上で、世界各地の非現実的な 2035 年の CO2 排出規制というマイルストーンに対し、各政府の見直しの考え方や動向を読む。

一方、BEV 事業に急激に舵を切り過ぎて経営不振に陥った主な自動車メーカーの事業戦略見直しや、ホンダ・日産で議論が始まった再編状況と連鎖の可能性にも言及する。加えて、このような環境変化の中、今注目されている技術領域(SDV/自動運転、革新電池、エンジン回帰、CN 燃料など)について主な最新技術動向を解説し、2025 年以降の世界自動車産業の新たな道筋を展望したい。

1. BEV バブル崩壊の実態
2. 各国政策の見直し
3. 主な自動車メーカーの戦略見直しと再編への動き
4. 最新自動車技術動向 (SDV/自動運転、革新電池、エンジン回帰)
5. SDV/自動運転 (V2X、MaaS)
6. 革新電池 (全固体電池)
7. エンジン回帰 (DHE、CN 燃料)
8. 世界の自動車産業の新たな道筋
9. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 古野 志健男(ふるの しげお)氏

1982 年 豊橋技術科学大学電気電子工学専攻修了。同年トヨタ自動車工業(現・トヨタ自動車)入社。東富士研究所配属後、エンジン先行開発部門にて 30 年間従事。2005 年 エンジン先行開発部部長に就任。2012 年 日本自動車部品総合研究所(現・SOKEN)に転籍し常務、2013 年 同社専務、2020 年 エグゼクティブフェロー、現在に至る。

2014 年～2019 年 内閣府 SIP 革新的燃焼技術サブプログラムディレクター。2013 年～2020 年 国立豊橋技術科学大学経営協議会委員。2018 年～ 日本自動車部品工業会技術顧問。2019 年～ 日経クロステックコラムライター。2022 年 三重県脱炭素社会推進検討会議有識者委員。

